

為 替 相 場 展 望

株式会社 日本総合研究所
調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/research/>

目 次

ドル円相場	1
ユーロ相場	2
トピックス	3～7
ドル円相場・チャート分析	8
為替関連指標	9
資料	

本資料は2009年4月30日時点で利用
可能な情報をもとに作成しております。

本資料に関するご照会は、下記宛てお
願い致します。

欧米経済・市場動向グループ
牧田 (Tel: 03-3288-4244
Mail: makita.takeshi@jri.co.jp)

1. ドル・円相場見通し

短期的にはドル堅調地合いながら、米財政赤字拡大等のドル安材料の解消が当面見込めないなか、緩やかなドル安基調が続く見通し。

(1) 4月の相場回顧

4月のドル円相場は、世界的な景気底打ち期待を背景とした株高を受け、6日にかけ101.45円まで円安ドル高が進行。もっとも、追加のドル買い材料に乏しいなか、その後はドル高が一服。中旬以降は、14日の低調な米小売統計をきっかけに景気底打ちに対する過度な期待がはく落したほか、米銀決算を受けた金融不安の強まり、クライスラー・GM経営再建問題の難航などが相次ぎ、ドルジリ安傾向が明確化。28日には一時95.63円まで円高ドル安が加速。

(2) 今後の見通し

国内景気の低迷が深刻化するなかで、**当面円軟調地合いながら、米国での景気低迷・金融不安が続くなか、中期的な円高ドル安基調に変化はない見通し。**

短期的には、①国内景気的大幅な悪化、②わが国貿易収支の赤字転落に加え、③米国政府の積極的な対応を受けた景気底打ち期待の高まり、等を背景に、**円軟調地合い**が続く見込み。もっとも、住宅価格下落持続・家計の過剰債務問題等を背景に、米国景気の力強い回復は困難とみられるなか、円キャリー取引に代表される積極的なリスク取引も当面活発化する公算は小さく、ドルの反発余地は限られる見込み。

一方、在庫調整進展により、わが国景気的大幅悪化に歯止めがかかるとみられる**年央までには、円軟調地合いも一服する見通し**。むしろ、米国財政赤字の未曾有の拡大、FRBによる超低金利継続・バランスシート拡大など、構造的なドル安要因に解消の目処が立たない状況下、米国の景気回復期待や金融安定化期待がはく落するにつれて、**ドルが再び下値を模索する展開に移行する見通し**。①積極的な円買い材料は乏しいこと、②過度な円高進行局面ではわが国通貨当局による円売り介入が予想されること、等から、一方的な円高ドル安進行は回避されるとみられるものの、ドルに対する信認低下が顕著となり、ドルの下値が深くなるリスクも排除できず。

(円)

(円)

	2009年		2009年				2010年
	4月	5月	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期
期中平均	99.0	96	93.6	97	96	94	92
(高値)	101.5	100	99.7	102	102	100	98
予測レンジ	?	?	?	?	?	?	?
(安値)	93.6	92	87.1	92	90	88	86

(円)

予測

予測



2. ユーロ相場見通し

対ドル、対円ともに、年央にかけてユーロ安基調が続く見込み。夏以降ユーロ安一服も、力強いユーロ反発は期待薄。

(1) 4月の相場回顧

＜対ドル＞ ECBの利下げが0.25%にとどまったことやG20での新興国向け融資枠拡大決定を受け、月初に一時1.3582ドルまでユーロが強含んだものの、ECBによる非伝統的手法による追加金融緩和観測が強まるなか、その後はユーロゾリ安の展開。22日には、米銀決算を契機とした金融不安の再燃・それに伴うリスク回避の動きから、1.2885ドルまでユーロ安が進行。月末にかけては、ユーロ圏PMIや独ifo景況指数など予想以上に良好な指標が相次ぎ、一時1.3342ドル台までユーロが反発。

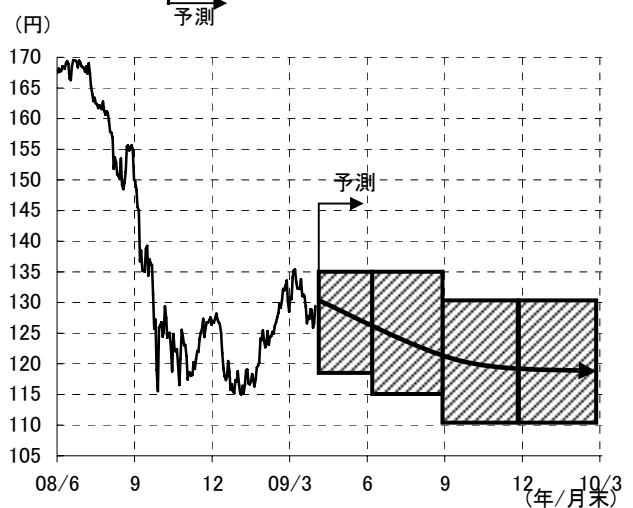
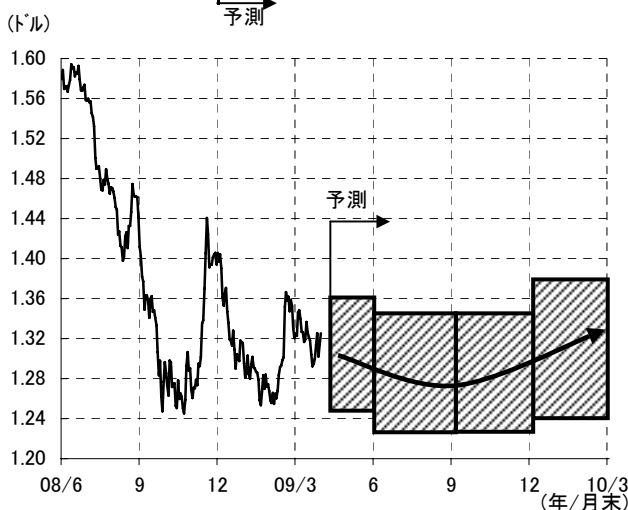
＜対円＞ 世界的な景気底打ち観測を背景とした株高を受けリスク取引が積極化し、6日にかけ137.42円まで円安ユーロ高が進行。もともと、ECBによる追加金融緩和観測や世界的な株高一服を背景にその後は円高ユーロ安が進行。米金融不安再燃や豚インフルエンザ感染拡大に伴う株安もあり、月末にかけて一時124.38円まで円高ユーロ安が加速。

(2) 今後の見通し

＜対ドル＞ 世界的な株高を背景に、短期的にはユーロ一段高の可能性はあるものの、①ユーロ圏景気の悪化持続、それに伴うECBの追加金融緩和観測、②ユーロ圏での金融不安、③ユーロ圏内の財政格差拡大等を受けた通貨ユーロに対する信認低下等を背景に、ユーロ高の持続性は乏しく、株高一服につれ、**ユーロ安基調に復帰する見通し**。ECBによる利下げが一服、急激な景気悪化にも歯止めがかかるとみられる**今夏以降は、米財政赤字拡大などドルに対する信認が大きく低下するなか、徐々にユーロ持ち直し傾向が強まる見通し**。もともと、①ユーロ圏景気の長期停滞懸念、②ユーロ域内経済格差拡大を背景としたユーロに対する信認低下も容易には払拭され難く、**ユーロ安値圏での推移が長期化する見通し**。

＜対円＞ 株高が続けばユーロ一段高の可能性はあるものの、①ユーロ圏景気の悪化、それに伴うECBの追加金融緩和観測、②欧州での金融不安再燃懸念、③ユーロ域内格差拡大等を背景とした通貨ユーロに対する信認低下を背景に、**当面円高ユーロ安基調が続く見通し**。ECBによる追加利下げが十分に織り込まれれば、国内景気の停滞など、積極的な円買い材料が乏しい状況下、一方的な円高ユーロ安には歯止めがかかる見通しながら、①ユーロ圏景気の停滞長期化、②通貨ユーロに対する信認低下がユーロ高抑制に作用するほか、積極的なリスク取引も当面再開が見込めず、**ユーロ安値圏での推移が長期化する見通し**。

(USD)					(円)					
	2009年				2010年	2009年				2010年
	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
平均	1.305	1.30	1.28	1.28	1.31	122.1	126	123	120	121
(高値)	1.406	1.36	1.34	1.34	1.38	134.5	137	135	130	130
レンジ	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
(安値)	1.246	1.24	1.22	1.22	1.24	112.1	117	115	110	110



3. トピックス

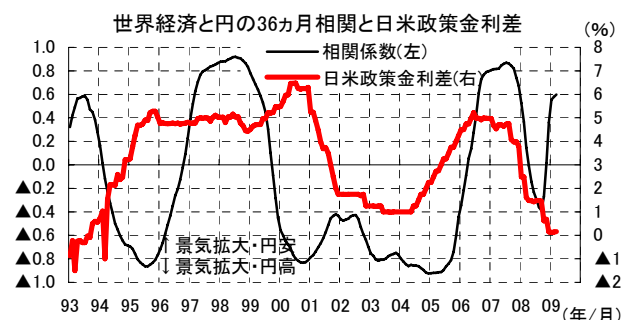
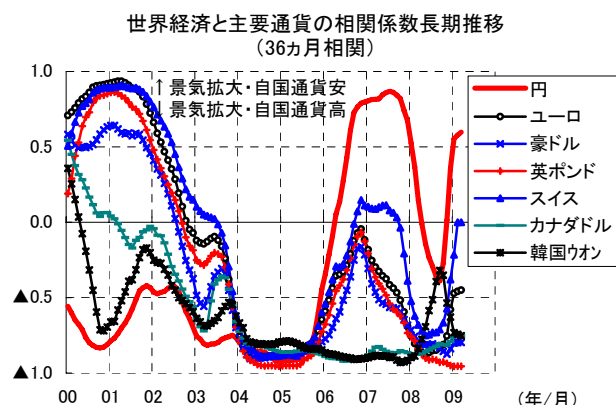
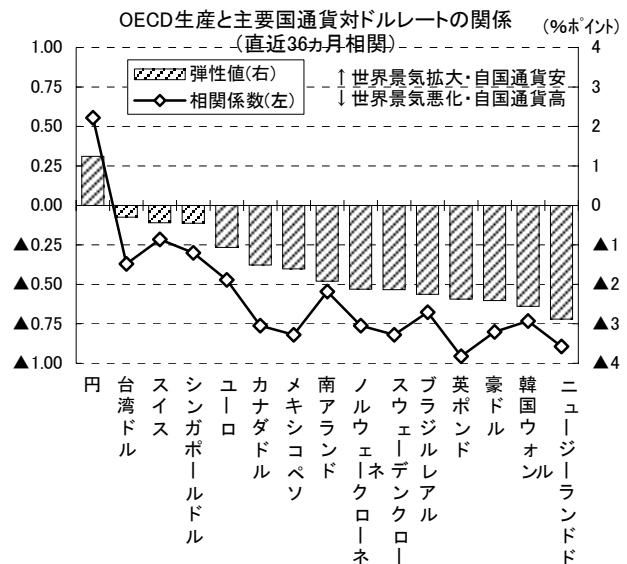
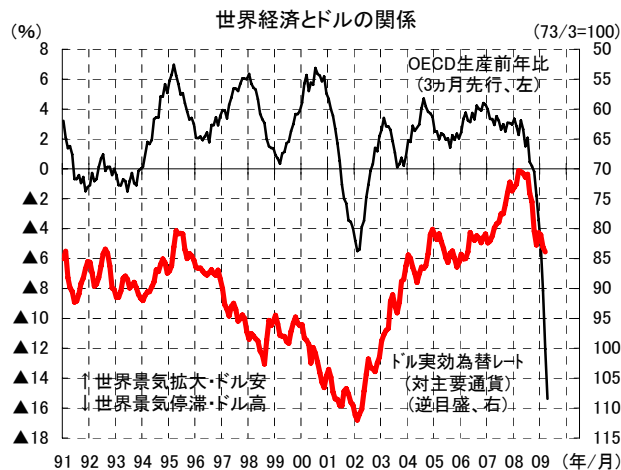
(1)世界経済と主要国通貨：景気底打ちならドル安へ。円は、内外金利差が小さい状況下、上昇の公算大。

世界各国で一部に前向きな指標が出始めるなど、世界的な景気底打ち期待が強まっている。実際には、昨年秋以降の急激かつ大幅な悪化ペースが鈍化しただけにすぎないとみられるが、今後景気が明確に持ち直してくれば、為替市場でも通貨間の強弱に変化が到来する可能性がある。

世界経済(OECD生産前年比で代用)とドル名目実効為替レート(対主要通貨)との関係を見ると、OECD生産前年比が上向く局面では、3ヵ月程度のラグを持ってその後ドル安が進行、逆に、生産が下向く局面ではドル高が進行する傾向が窺える。これは、世界経済拡大局面ではリスク志向の強まりから米国以外の地域への投資が増加する一方で、世界経済停滞局面ではリスク回避の動きからドルへの資金回帰が生じていることを示唆している。上記関係を踏まえると、世界経済の悪化が続いている限り、実効レートベースでのドル高が続く一方、世界経済の悪化に歯止めがかかってくれば、ドル安傾向が強まる可能性が高いといえる。

同様にOECD生産と主要国通貨の対ドルレートとの直近36ヵ月の関係をみると、円のみが【景気拡大・自国通貨安】という関係となり、円以外の通貨はいずれも【景気拡大・自国通貨高】という関係となっている。とりわけ、豪ドル・NZドル・韓国ウォンはOECD生産に対する弾性値が大きく、景気拡大局面では大きく上昇、逆に景気悪化局面では大幅に下落する傾向が認められる。これまでの関係が続くと想定すれば、景気低迷下では対豪ドル・NZドルを中心に円高が予想される一方で、景気拡大局面では円安豪ドル高・NZドル高が予想されることになる。

ただし、これはあくまで「円安バブル」が発生・その巻き戻しが生じてきた直近3年間の関係にすぎず、今後もこうした関係が維持される保証はない。実際、OECD生産と主要国通貨の36ヵ月相関で長期に亘り安定した関係が確認できる通貨はなく、円は2005年以前は景気敏感通貨という位置付け、ユーロは2002年まで景気動向と正反対のパフォーマンスとなっていた。ちなみに、ドル円相場とOECD生産との36ヵ月相関と日米政策金利差の関係をみると、金利差が小さい局面では「景気拡大局面で円高」、金利差が大きい局面では「景気拡大局面で円安」となる傾向がある。すなわち、内外金利差が乏しい状況では、世界的な景気拡大は日本の景気拡大期待から円高を招来するが、景気が成熟化し諸外国で金利が引き上げられる状況になると、超低金利の円が調達通貨と化し円安が進行するという関係に変質している。こうした関係を踏まえると、世界経済の底打ちは当面円高ドル安につながる公算が大きい。

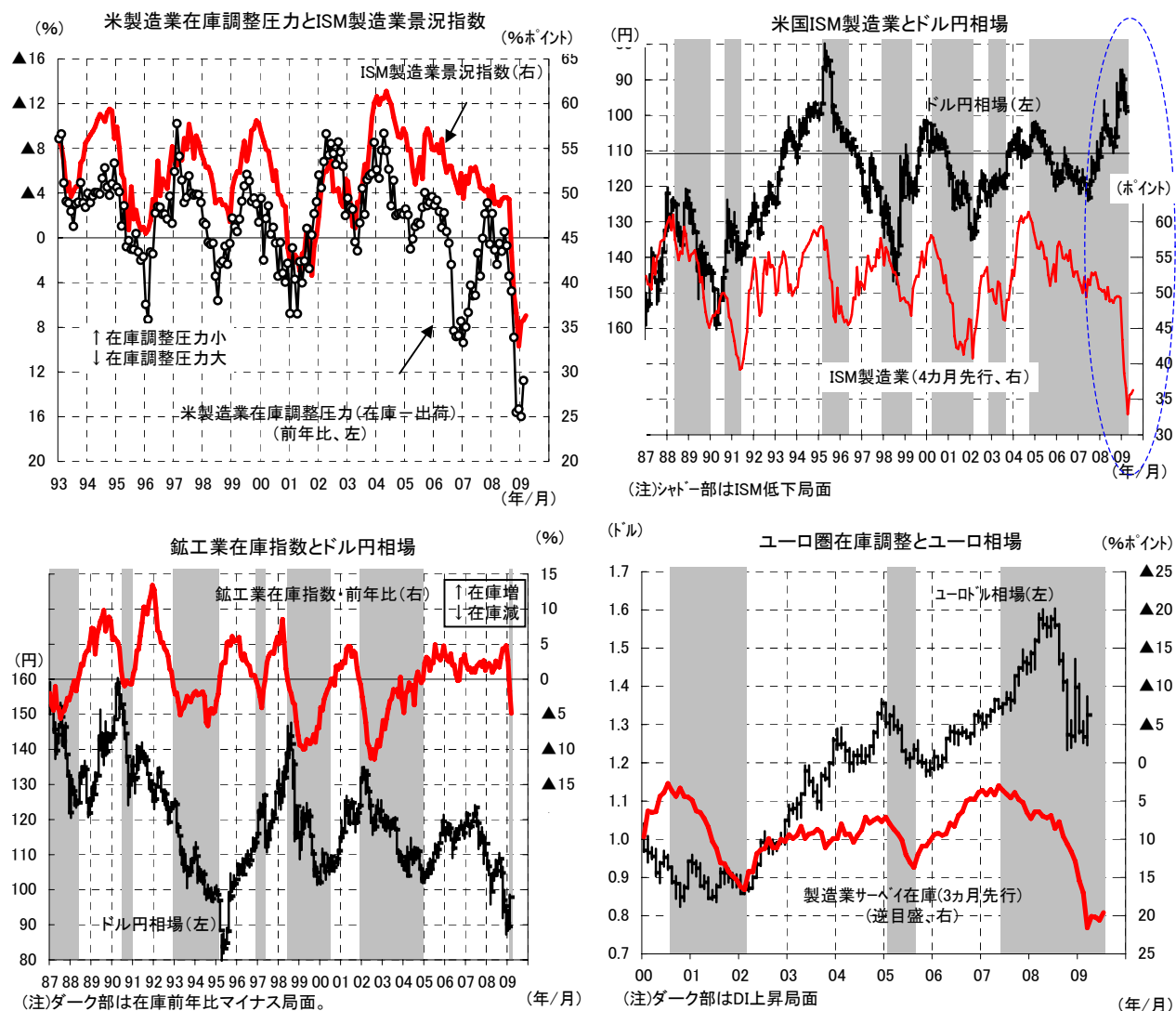


(2)在庫調整進捗:日米での在庫調整進捗は円高要因。一方、ユーロ圏では在庫調整が遅れ、当面ユーロ下押しに作用。

世界的に景気が底打ちしたかどうかは慎重に見極める必要があるが、昨年秋以降各国で景気の急激な収縮をもたらしてきた在庫調整の動きに一巡感が広がり始めてきたことは紛れもない事実である。米国では、出荷は引き続き大幅な減少が続いているものの、1月入り以降在庫が前年比減少に転じ、在庫調整圧力(在庫前年比-出荷前年比)は同月でピークアウトの様相を呈している。こうした在庫調整圧力の減退が、低水準ながらもISM製造業景況指数の緩やかな改善につながっている。日本でも、3月の鉱工業在庫指数が前月比▲3.3%と3ヵ月連続で低下している。

米ISM製造業景況指数とドル円相場との関係をみると、米国での製造業の持ち直しがわが国の輸出増加・生産増加に直結しやすいことから、米ISM指数上昇局面では円高ドル安が、逆にISM指数低下局面では円安ドル高が進行する傾向がある。①米国経済の現状を踏まえると、ISM指数の持続的な上昇は期待薄なこと、②2007年夏以降、米ISM低下にもかかわらず異例な円高ドル安が進行していたことを踏まえると、米ISM指数の改善が大幅かつ持続的な円高ドル安進行をもたらす可能性は小さい。もっとも、2月から3月にみられたような日本の景気悪化を材料にした円安局面は少なくとも一巡したとみられる。わが国の鉱工業在庫指数とドル円相場との関係をみても、在庫指数が前年比マイナスとなる局面では例外なく円高ドル安が進行しており、今後実体経済面から円高圧力が強まる可能性がある。

一方、在庫調整が進捗する日米に対し、ユーロ圏では顕著な進捗はみられない。すなわち、ユーロ圏製造業サーベイの在庫DIは昨年12月以来歴史的な高水準で高止まりが続いている。在庫DIとユーロドル相場との関係をみると、07年夏から08年夏こそ在庫DIの上昇にもかかわらず、「ドル離れ」「ユーロへの資金シフト」などを背景にユーロ高が進行したが、総じて在庫DIが低下する局面でユーロ高が、在庫DIが上昇する局面でユーロ安が進行している。ユーロ圏で在庫調整が一巡しない限り、ユーロは下振れリスクをはらんだ展開が続く可能性が高い。



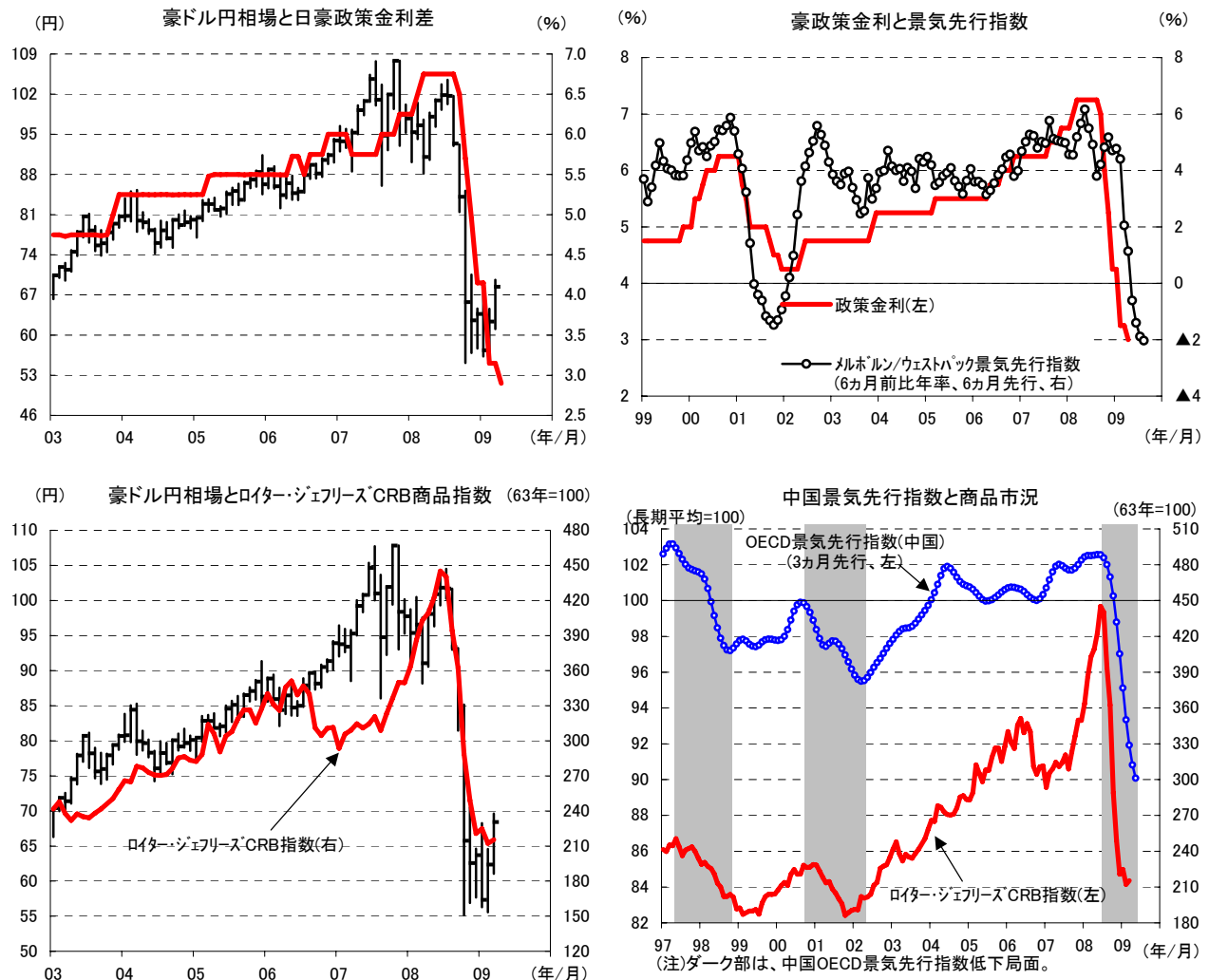
(3) 豪ドル高の持続性：一段の豪ドル安は回避される公算ながら、豪ドル高基調への転換は時期尚早。

世界的な株高や中国での景気底打ち観測から、豪ドルなどの資源国通貨が反発傾向を強めている。豪ドルは4月中旬にかけ対ドル、対円ともに昨年10月初以来の水準まで反発した。もっとも、ファンダメンタルズ面からは、足許の豪ドル高を正当化する材料は乏しいのが実情である。

まず、日豪政策金利差と豪ドル円相場との関係を見ると、2003年以降ほぼ金利差拡大に伴い円安豪ドル高が進行、2008年夏以降は金利差縮小に伴い円高豪ドル安が進行している。これまでの両者の関係を踏まえると、現行の政策金利差に見合う豪ドル円相場水準はせいぜい50円台で、足許の70円台が定着するには豪中銀による1%強の利上げが織り込まれる必要がある。一方で、豪中銀が4月の利下げ幅を0.25%にとどめたことから、足許では利下げ打ち止め観測が広がっているものの、豪景気先行指数に依然底打ちの兆しはみえていない。少なくとも豪景気先行指数が6ヵ月前比年率でプラスに転じるまでは利上げは展望できず、むしろ同年率がマイナス圏で推移するなか、先行き追加利下げの可能性も排除できない情勢にある。

一方、豪ドル円相場とロイター・ジェフリーズCRB商品指数との関係を見ると、総じて商品市況上昇局面で円安豪ドル高が、商品市況下落局面で円高豪ドル安が進行している。これまでの両者の関係を踏まえると、現状のロイター・ジェフリーズCRB指数に見合う豪ドル円相場水準は概ね60円台とみられる。足許での豪ドル高の一因には、中国景気の底打ち期待、それに伴う商品市況上昇期待がその根因にあるとみられるが、現状同指数は下げ止まりこそしたものの顕著な上昇はみられておらず、70円台の円安豪ドル高はややオーバーシュートの感が否めない。むしろ、同指数に3ヵ月程度先行する中国のOECD景気先行指数が、2月まで下落が続いていることを踏まえると、もう一段の商品指数の下落、円高豪ドル安の可能性も残る状況といえる。

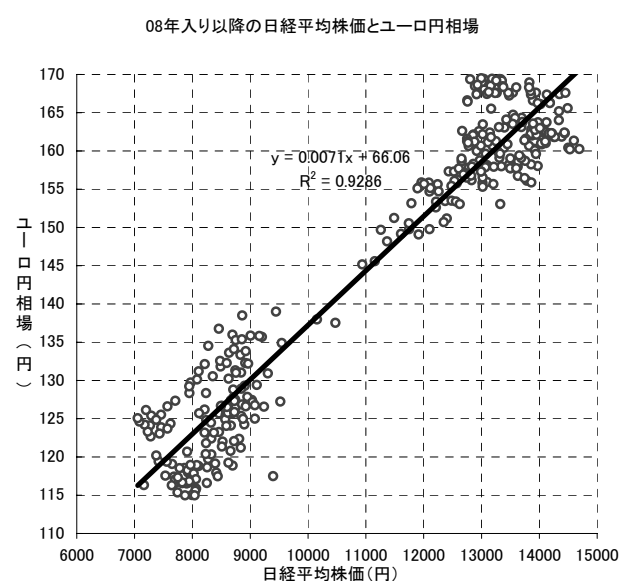
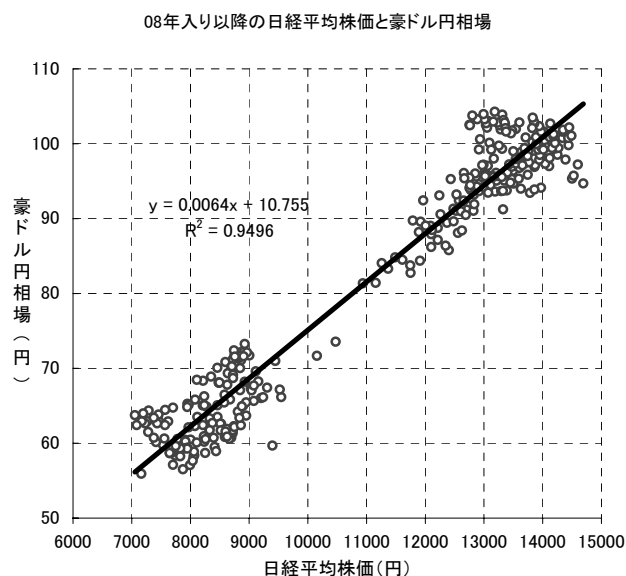
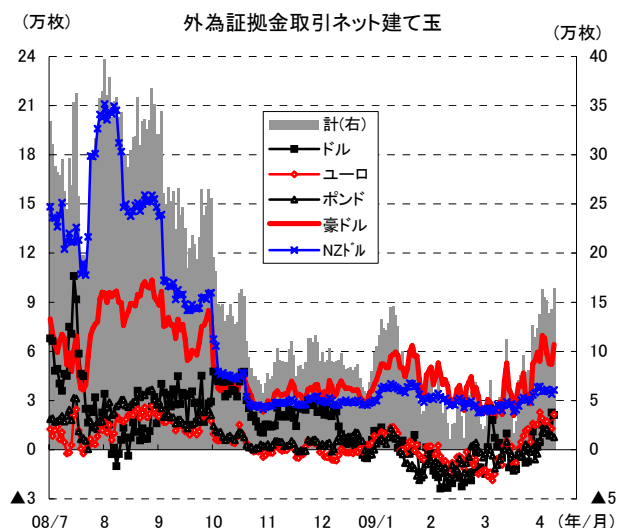
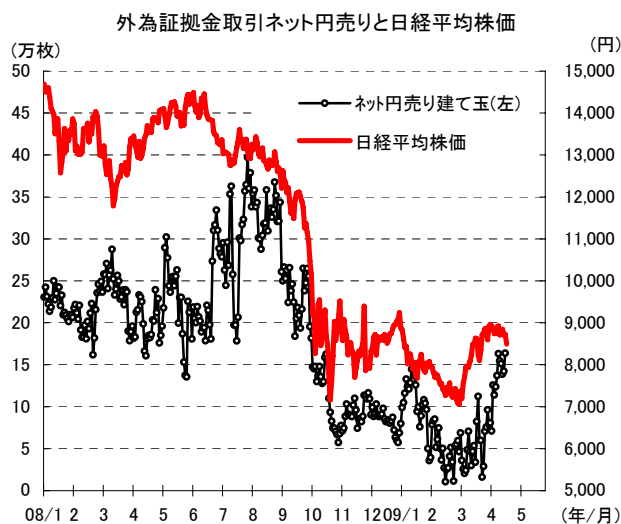
以上、先行き中国景気の持ち直し傾向が明確化すれば、商品市況の下げ止まりから豪ドルは底堅さを増してくるとみられるが、こうした傾向が定着するには今暫く時間がかかる見通し。むしろ短期的には、金利面での割高さ、商品市況の下振れリスクなどから、円高豪ドル安への揺り戻しが生じる可能性がある。



(4)外為証拠金取引での円売り増加:株高が専ら対豪ドル・ユーロでの円売りを誘発。持続的なクロス円での円安には株一段高が不可欠。

外為証拠金取引によるわが国個人投資家の円売りが緩やかながらも再び増加し始めている。ただし、為替相場に強い影響力を持っていた昨年夏までとは、かなり性格が変化している。まず、昨年夏までは、日経平均株価と負の相関、すなわち、株安局面で円売り持ちが増加、株高で円売り持ち縮小という関係がみられた（個人投資家による徹底的な外貨押し目買いが行われていた）が、昨年夏以降は日経平均株価と正の相関が強まっている。足許での円売り持ち増加は、従来のような腰の入った円売りではなく、株高に伴う投機的な色彩が強くなっていることが窺われる。一方、通貨別にみると、昨年夏までのような円売り一辺倒ではなく、買い持ちの増減は主に豪ドル・ユーロに限定され、NZドルの買い持ち幅は大きな増減がなく、ドルやポンドではほぼニュートラルな状況にある。NZドルと豪ドルで乖離が生じていることを踏まえると、市場の焦点は金利差ではなく中国での景気底入れ・商品市況、あるいは、ユーロの変動が大きいことを踏まえると、「ドル離れ」というテーマに向かっていると判断される。

以上を踏まえると、クロス円、とりわけ豪ドル円・ユーロ円は、株価との連動性が顕著に強まっており、一段の株高が生じない限り、あるいは、国内株価以外で豪ドル高・ユーロ高が正当化される環境が生じるまでは、追加の円安豪ドル高・ユーロ高進行余地は限られる見込み。逆に、株安になればわが国個人投資家による円売り持ち解消の動きから、大幅な円高への揺り戻しが生じるリスクを有しているといえる。ちなみに、2008年以降の日経平均株価と豪ドル円相場・ユーロ円相場の関係を踏まえると、豪ドル円での70円台、ユーロ円での130円台が定着するには日経平均株価が9,000円台を持続的に上回る必要。逆に、日経平均株価が再び8,000円を割り込むような局面が到来すれば、対豪ドルで60円割れ、対ユーロで120円前後まで円高が進行する可能性がある。



(5) 金融不安の行方: 損失処理はまだ序の口。金融不安がくすぶり続けるなか、当面リスク回避に伴うユーロ安傾向が続く見込み。

09年1～3月期の米金融機関決算は、会計基準見直しや金融市場の混乱一巡もあり、見掛け上は良好な内容となったものの、多くの金融機関で貸倒引当金の大幅な積み増しを余儀なくされるなど、実体経済悪化の影響を本格的に受け始めている。もっとも、米金融機関は、景気悪化に伴う不良債権増加に対して、その引当が追いついていない。米金融機関の貸倒引当金計上は07年夏以降期を追って増加しているにもかかわらず、不良債権の急増によって引当率(貸倒引当/不良債権<30～89日延滞も含む>)は50%割れまで低下している。景気の悪化が続く限り、住宅ローンや商工業向けローンでの延滞率増加は避けられず、今後も大幅な貸倒引当金計上・大幅赤字(黒字縮小)を余儀なくされる公算が大きい。5月4日に発表される米銀ストレス・テストの結果次第では、金融市場の動揺が再び高まる可能性がある(注)。

そもそも欧米金融機関の不良資産問題は道半ばにも到達していない状況にある。IMFは4月21日米国での不良資産評価損を1月時点の推計2.2兆ドルから2.7兆ドルに引き上げる一方、新たに欧州で1.2兆ドル、日本で0.2兆ドルの評価損が発生し、米欧日合計で4.1兆ドルに達する可能性があると発表した。これに対し、米欧日金融機関の損失処理額は足許(09/4/29)までで1.4兆ドルにとどまっており、とりわけ欧州では、未だ半分も処理が終わっていない状況にある。各国政府・中銀による積極的な対応により、昨年秋から年末にかけてみられたような流動性枯渇という形の金融危機は一巡したものの、欧米金融機関の不良資産処理が大きく遅れるなか、金融不安の払拭にはなお時間を要する見込み。

昨年9月以降の米金融株とユーロドル相場の推移をみると、政策対応等により金融株が上昇すると、リスク志向の強まりからドル安ユーロ高が進行する一方、その化けの皮がはがれると米金融株下落、リスク回避姿勢の強まりからドル高ユーロ安が進行するという展開を繰り返している。当面金融不安の解消が見込めないなか、持続的な米金融株の上昇は期待できず、ユーロ下振れリスクをはらんだ展開が続く可能性が高い。

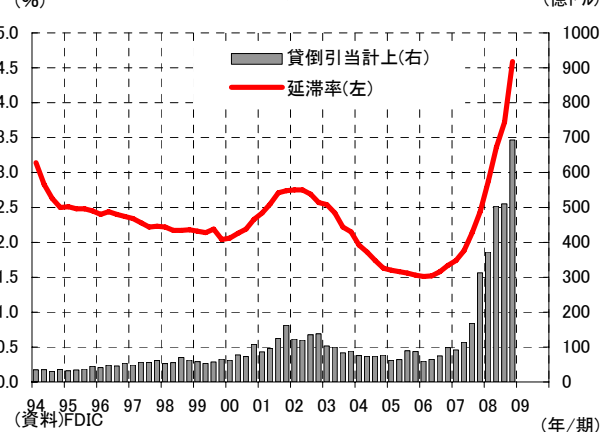
(注) ストレステスト自体、「09年実質GDP成長率▲3.3%、10年同+0.5%」、「09年失業率8.9%、10年10.3%」、「09年ケースシラー住宅価格▲22%、10年同▲7%」と今となつては基本シナリオともいえる数字を悪化シナリオとして試算しており、その結果で景気悪化への抵抗力があるとみなすことはできない。

FDIC加盟金融機関の貸倒引当金計上額



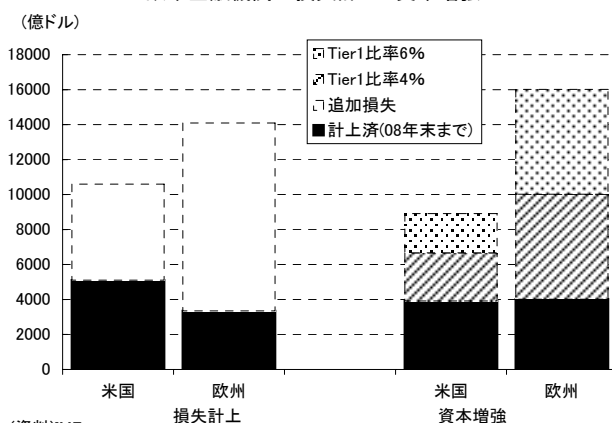
(注) 引当率=貸倒引当金/不良債権(30～89日延滞も含む)
(資料) FDIC

米銀延滞率と貸倒引当金計上



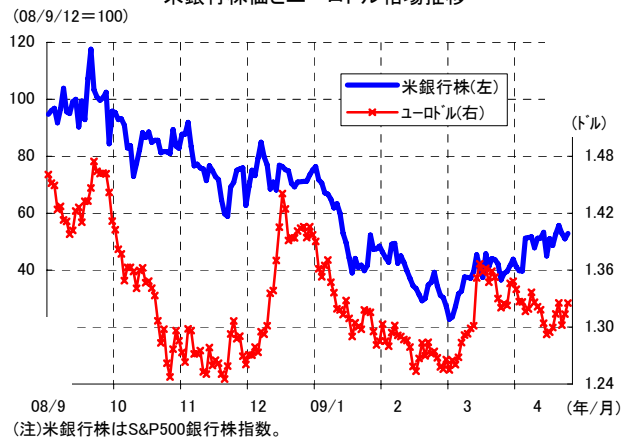
(資料) FDIC

欧米金融機関の損失計上と資本増強



(資料) IMF

米銀行株価とユーロドル相場推移



(注) 米銀行株はS&P500銀行株指数。

4. ドル円相場・チャート分析

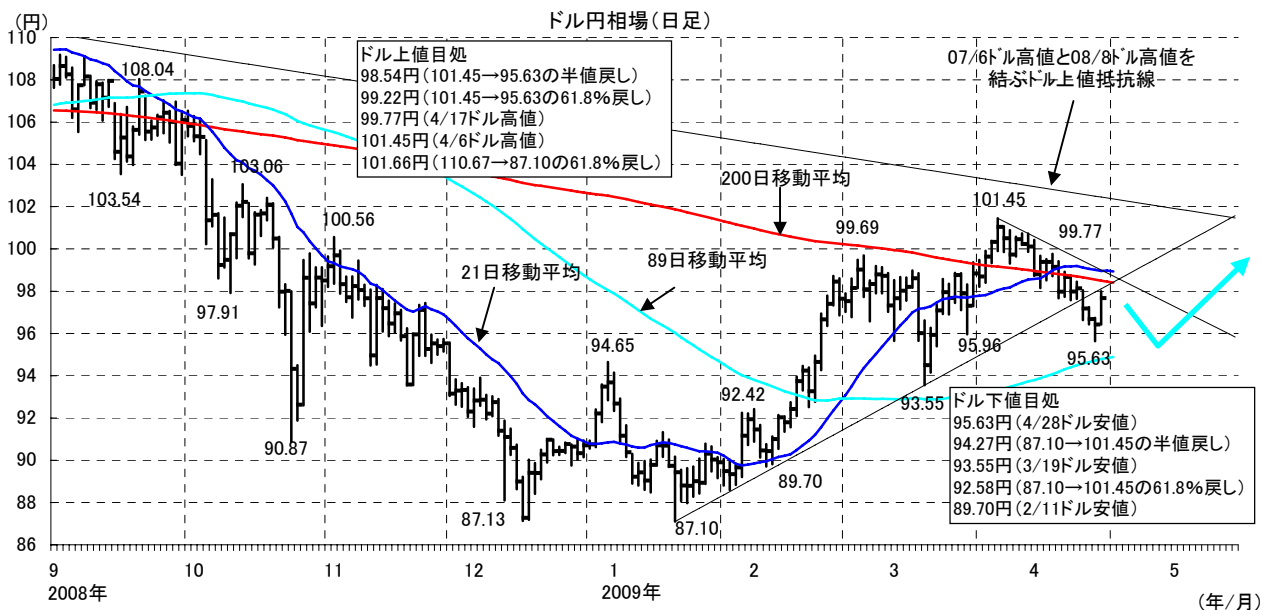
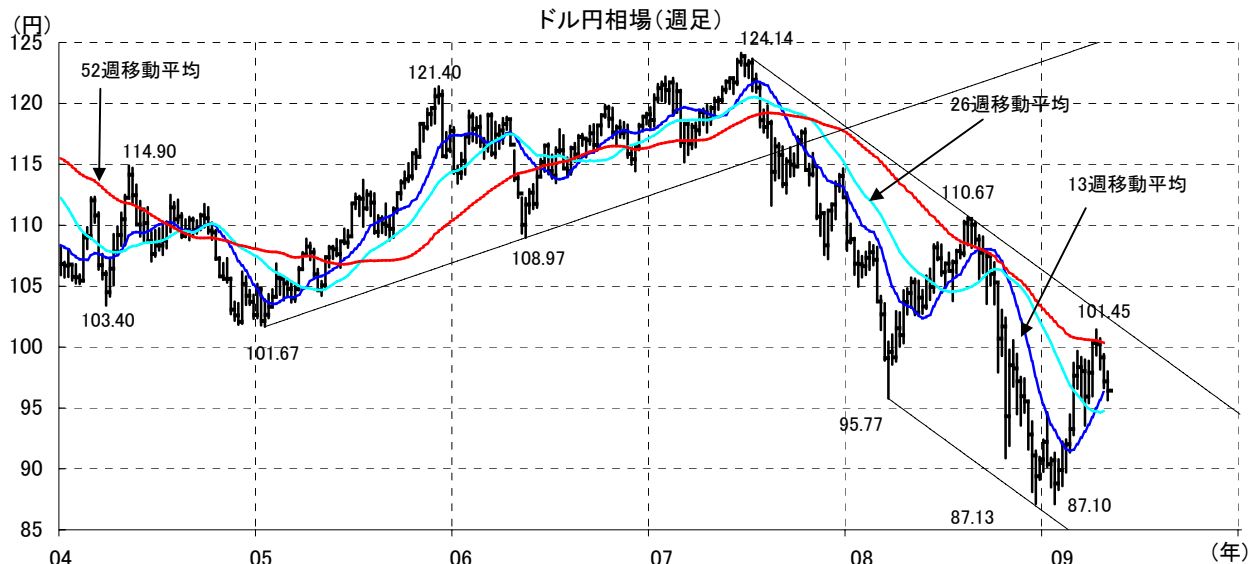
短期的なドル高一服し、ドル下値模索の展開。95円を割り込むと、ドル安加速のリスク。一方、98円台からはドルの上値が重くなる見込み。

＜週足チャート（4/30時点での見解）＞

- ・4月初にかけてドルが上昇したものの、52週線が上値抑制に作用。同線及び101円台後半に位置する2007年6月以来のドル上値抵抗線を明確に上抜けられない限り、中長期的なドル安基調に変化はなく、100円前後でドル頭打ち感の強い展開が続く見通し。
- ・一方、ドル下値では、96円台前半に位置する13週線、94円台後半に位置する26週線が維持される限り、1月下旬以来のドル反発基調に変化はないものの、同線を下抜ければ、90円割れに向けドル安再開の公算。

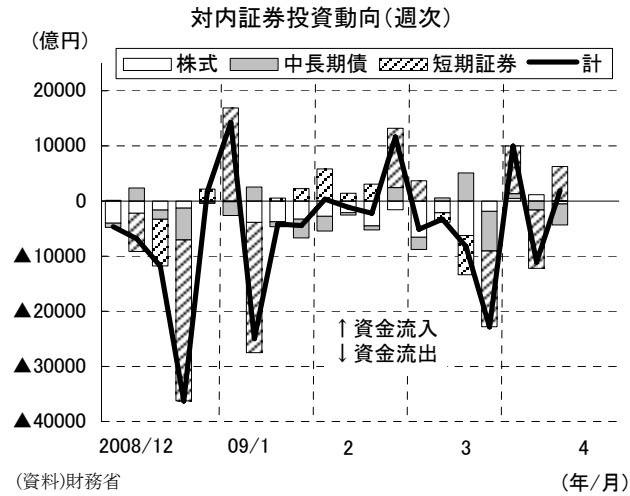
＜日足チャート（4/30時点での見解）＞

- ・4月末にかけて、1月下旬以来のドル下値支持線を下抜け。ドル反発局面が一巡したことが確認され、当面はドルの調整余地を探る展開へ。89日線が位置する94円台後半ではドルが底堅く推移する見込みながら、同線を下抜ければ90円前後までドルの調整が深まる可能性も。
- ・一方、ドル上値では、200日線が98円台半ば、4月来ドル上値抵抗線が99円前後、21日線が99円台前半に控えており、同水準ではドルの上値の重い展開が続く見通し。逆に、同水準を上抜けすれば、2007年6月来ドル上値抵抗線が位置する102円台前半までのドル反発は期待可能。

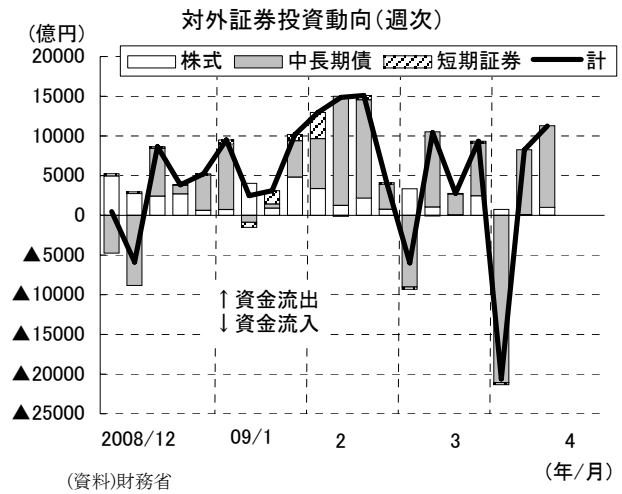


5. 為替関連指標

<対内対外証券投資動向>

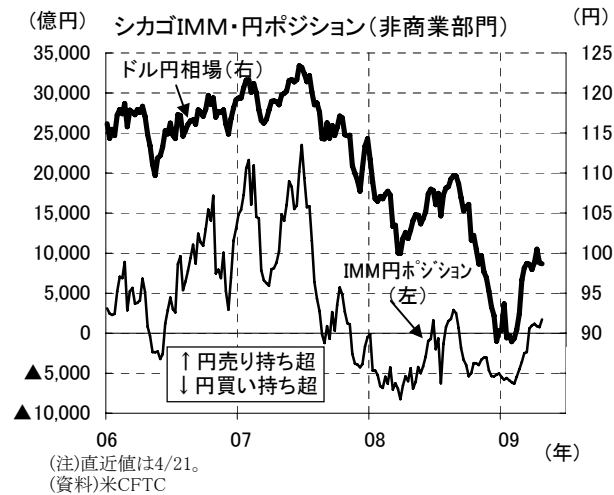


4月以降、対内株式投資が昨年11月以来の買い越し超となるなど、日本株売りの動きは一服。当面円安抑制に作用する見通し。

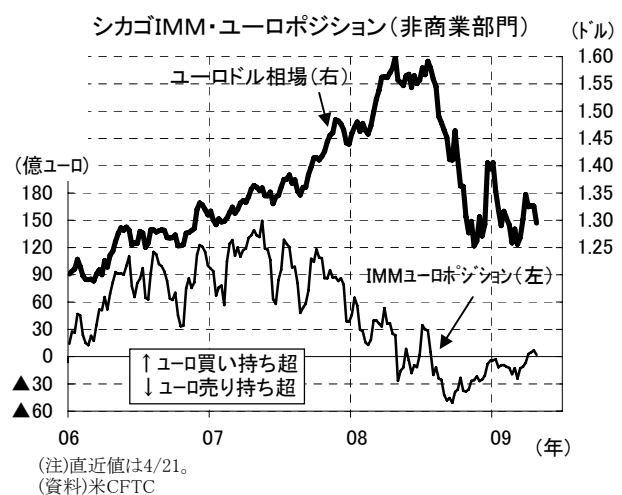


新年度入り以降、中長期債を中心に高水準で推移し、円軟調地合いをサポート。

<シカゴIMM(通貨先物)ポジション>

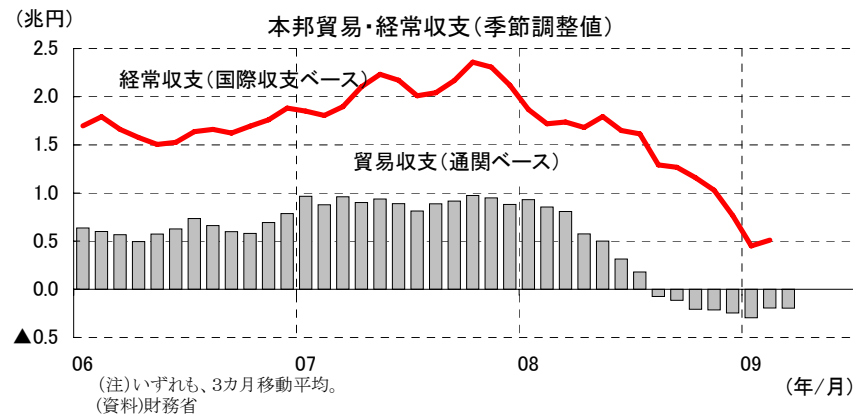


3月中旬以降、小幅ながらも円売り持ち超が持続。金利差の観点から円売り持ち拡大は見込み難しく、今後円買い戻しが強まる可能性。



4月入り以降、ユーロ買い持ち超に転換も低水準。当面は方向感を欠いた状況が続く見込み。

<本邦貿易・経常収支>



3月の貿易収支は、輸出入ともに減少が続き、季節調整値ベースで小幅の赤字が持続。内需低迷に加え、アジア向け輸出に改善の兆しがみられるなか、今後は緩やかながらも貿易黒字に復帰する見通しながら、黒字が大幅に拡大する公算も小。

内外市場動向（2009年4月）

	ドル金利						円金利						ドル金利		為替相場								株式相場			石油	金	CRB		
	Fed Fund O/N		1-0- ドル 3ヵ月	1-0- ドル 先物 価格	10年 国債 金利	30年 国債 金利	T-Bond 先物 価格	無担 コール O/N	CD 3M	1-0- ドル 3M	1-0- ドル 先物 価格	円・円 スワップ 5 Y	10年 国債 金利	円債 先物 価格	1-0- ドル 3ヵ月	10年 国債 金利	円/ドル 東京 17:00	対ドル(NY 終値)				対円(NY 終値)			日経平均 225種 (円)	NY ダウ 工業株 (ドル)	NASDAQ (ドル)	(WTI) 先物 (\$/B)	(COMEX) 先物 (\$/TO)	CRB 商品 指数
	終値	実効																円	EUR	SFr	STG	EUR	SFr	STG						
2009年				(Jun)			(Jun)				(Jun)															(May)	(Jun)			
3/30	0.20	0.16	1.55	98.87	2.71	3.60	128.31	0.093	0.65	0.65	99.42	0.95	1.33	138.30	1.52	3.03	96.17	97.31	1.3207	1.1483	1.4258	128.50	84.78	138.79	8236.08	7522.02	1501.80	48.41	917.7	215.17
31	0.31	0.16	1.55	98.90	2.66	3.53	129.23	0.088	0.63	0.65	99.42	0.96	1.34	138.15	1.51	2.99	98.31	98.86	1.3251	1.1393	1.4328	130.94	86.75	141.62	8109.53	7608.92	1528.59	49.66	925.0	220.40
4/1	0.20	0.16	1.55	98.90	2.65	3.50	130.19	0.101	0.63	0.65	99.42	0.96	1.33	138.15	1.49	2.99	98.31	98.56	1.3251	1.1469	1.4463	130.52	85.94	142.64	8351.91	7761.60	1551.60	48.39	927.7	217.81
2	0.19	0.16	1.55	98.88	2.77	3.60	129.05	0.100	0.61	0.64	99.42	0.98	1.37	137.81	1.48	3.16	99.13	99.57	1.3463	1.1339	1.4732	134.07	87.79	146.68	8719.78	7978.08	1602.63	52.64	908.9	226.29
3	0.15	0.13	1.55	98.88	2.89	3.69	126.32	0.103	0.61	0.64	99.42	1.01	1.42	137.41	1.48	3.22	99.78	100.33	1.3483	1.1310	1.4833	135.27	88.71	148.81	8749.84	8017.59	1621.87	52.51	897.3	228.93
4																														
5																														
6	0.17	0.14	1.55	98.88	2.92	3.72	126.03	0.100	0.61	0.64	99.42	1.04	1.48	137.00	1.47	3.22	101.16	101.00	1.3407	1.1364	1.4755	135.43	88.88	148.96	8857.93	7975.85	1606.71	51.05	872.8	224.53
7	0.25	0.14	1.55	98.90	2.90	3.71	126.25	0.097	0.60	0.63	99.42	1.04	1.43	137.08	1.45	3.22	100.55	100.52	1.3268	1.1432	1.4735	133.36	87.89	148.06	8832.85	7789.56	1561.61	49.15	883.3	222.90
8	0.13	0.14	1.55	98.92	2.86	3.67	127.19	0.096	0.60	0.63	99.42	1.04	1.45	136.85	1.44	3.21	99.67	99.74	1.3260	1.1481	1.4700	132.28	86.92	146.60	8595.01	7837.11	1590.66	49.38	885.9	223.71
9	0.15	0.14	1.50	98.91	2.92	3.75	125.30	0.100	0.60	0.63	99.42	1.05	1.48	136.53	1.43	3.26	100.14	100.40	1.3165	1.1562	1.4669	132.17	86.83	147.24	8916.06	8083.38	1652.54	52.24	883.3	227.88
10	0.15	0.15	1.50	close	2.92	3.75	close	0.105	0.60	0.62	99.43	1.03	1.45	136.68	close	3.25	100.46	100.25	1.3189	1.1546	1.4672	132.22	86.83	147.09	8964.11	close	close	close	close	close
11																														
12																														
13	0.15	0.13	1.50	98.92	2.86	3.71	127.03	0.109	0.60	0.62	99.43	1.03	1.47	136.70	close	3.25	100.66	100.06	1.3365	1.1333	1.4848	133.72	88.29	148.55	8924.43	8057.81	1653.31	50.05	895.8	226.78
14	0.13	0.16	1.50	98.95	2.78	3.65	127.21	0.109	0.60	0.62	99.43	1.04	1.45	136.56	1.42	3.20	99.93	98.81	1.3255	1.1378	1.4898	130.98	86.87	147.20	8842.68	7920.18	1625.72	49.41	892.0	225.92
15	0.10	0.16	1.50	98.97	2.76	3.66	127.30	0.103	0.60	0.62	99.44	1.01	1.43	136.94	1.41	3.14	98.76	99.42	1.3220	1.1432	1.4988	131.43	86.97	149.00	8742.96	8029.62	1626.80	49.25	893.5	225.58
16	0.15	0.15	1.50	98.97	2.83	3.71	126.32	0.103	0.60	0.62	99.44	1.02	1.45	136.70	1.41	3.18	98.65	99.29	1.3179	1.1471	1.4926	130.95	86.62	148.26	8755.26	8125.43	1670.44	49.98	879.8	225.08
17	0.13	0.13	1.50	98.93	2.95	3.80	125.11	0.106	0.60	0.62	99.44	1.01	1.45	136.81	1.41	3.27	99.40	99.15	1.3041	1.1652	1.4795	129.30	85.09	146.68	8907.58	8131.33	1673.07	50.33	867.9	225.85
18																														
19																												(Jun)		
20	0.13	0.14	1.50	98.91	2.84	3.69	126.21	0.104	0.60	0.61	99.45	1.01	1.47	136.63	1.41	3.15	99.04	97.96	1.2916	1.1695	1.4528	126.56	83.78	142.32	8924.75	7841.73	1608.21	45.88	887.5	217.11
21	0.15	0.15	1.50	98.86	2.90	3.74	125.21	0.102	0.59	0.61	99.45	0.98	1.45	137.04	1.41	3.14	98.01	98.66	1.2936	1.1675	1.4673	127.76	84.48	144.79	8711.33	7969.56	1643.85	46.51	882.7	218.31
22	0.13	0.15	1.50	98.91	2.94	3.80	124.21	0.101	0.59	0.61	99.45	0.97	1.43	137.21	1.40	3.21	98.15	97.98	1.2999	1.1642	1.4477	127.39	84.20	141.90	8727.30	7886.57	1646.12	48.85	892.5	218.66
23	0.13	0.17	1.50	98.95	2.92	3.79	125.07	0.104	0.58	0.61	99.46	0.94	1.43	137.26	1.40	3.22	98.15	98.08	1.3147	1.1507	1.4720	128.96	85.24	144.41	8847.01	7957.06	1652.21	49.62	906.6	219.54
24	0.13	0.16	1.40	98.98	2.99	3.88	124.08	0.105	0.58	0.61	99.45	0.93	1.42	137.15	1.40	3.19	97.07	97.18	1.3255	1.1393	1.4678	128.81	85.30	142.63	8707.99	8076.29	1694.29	51.55	914.1	222.86
25																														
26																														
27	0.13	0.17	1.40	99.01	2.91	3.83	125.01	0.108	0.58	0.61	99.45	0.95	1.45	136.67	1.39	3.16	96.72	96.66	1.3019	1.1567	1.4623	125.75	83.62	141.28	8726.34	8025.00	1679.41	50.14	908.2	218.19
28	0.19	0.16	1.40	99.00	3.01	3.95	123.26	0.109	0.58	0.60	99.45	0.91	1.41	137.30	1.38	3.14	95.87	96.41	1.3146	1.1434	1.4628	126.68	84.31	141.05	8493.77	8016.95	1673.81	49.92	893.6	217.22
29	0.19		1.40	99.04	3.11	4.03	122.24	close	close	close	close	close	close	close	1.37	3.13	close	97.51	1.3266	1.1360	1.4777	129.41	85.82	143.98	close	8185.73	1711.94	50.97	900.5	221.17
30																														
5/1																														
2																														
3																														
4月AVG	0.15	0.15	1.50	98.93	2.89	3.75	120.09	0.103	0.60	0.62	99.43	1.00	1.43	137.02	1.42	3.19	98.98	98.93	1.3201	1.1478	1.4720	130.62	86.21	145.63	8764.94	7983.32	1637.34	49.89	893.7	222.72

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債	プライムレート		為替相場		日経平均	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担O/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur	株価 (円)	F F O/N	1-03ヵ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	1-03ヵ月	10年国債
05/8	0.10	0.001	0.09	0.10	0.22	0.70	1.46	1.41	1.375	1.60	110.72	136.06	12204.98	3.48	3.79	4.25	10555.58	2.13	3.25
05/9	0.10	0.001	0.09	0.10	0.25	0.71	1.42	1.37	1.375	1.55	111.06	136.20	12979.38	3.64	3.90	4.18	10532.54	2.14	3.09
05/10	0.10	0.001	0.09	0.11	0.34	0.91	1.61	1.53	1.375	1.80	114.82	138.01	13392.79	3.76	4.16	4.45	10324.31	2.20	3.26
05/11	0.10	0.001	0.09	0.11	0.36	0.93	1.61	1.51	1.375	1.90	118.41	139.54	14368.05	4.00	4.33	4.53	10695.25	2.36	3.48
05/12	0.10	0.001	0.09	0.11	0.34	0.95	1.64	1.53	1.375	1.85	118.64	140.68	15650.83	4.16	4.47	4.46	10827.79	2.47	3.37
06/1	0.10	0.001	0.10	0.11	0.35	0.94	1.59	1.47	1.375	1.80	115.45	139.99	14368.05	4.30	4.59	4.40	10872.48	2.51	3.34
06/2	0.10	0.001	0.10	0.11	0.49	1.15	1.75	1.56	1.375	2.00	117.89	140.77	16187.64	4.49	4.75	4.56	10971.19	2.60	3.49
06/3	0.10	0.002	0.12	0.14	0.68	1.37	1.91	1.69	1.375	2.10	117.31	140.98	16311.54	4.59	4.91	4.72	11144.45	2.72	3.66
06/4	0.10	0.002	0.13	0.19	0.81	1.58	2.14	1.90	1.375	2.45	117.11	143.56	17232.97	4.77	5.05	4.98	11234.68	2.79	3.92
06/5	0.10	0.020	0.19	0.27	0.89	1.60	2.15	1.91	1.375	2.50	111.51	142.54	16322.24	4.93	5.18	5.10	11333.88	2.89	3.98
06/6	0.10	0.036	0.31	0.40	0.88	1.50	2.06	1.86	1.375	2.45	114.53	145.14	14990.31	5.00	5.38	5.10	10997.97	2.99	3.99
06/7	0.40	0.155	0.40	0.48	0.94	1.57	2.12	1.90	1.375	2.65	115.67	146.72	15147.55	5.25	5.49	5.08	11032.48	3.10	4.02
06/8	0.40	0.250	0.43	0.51	0.89	1.48	2.02	1.81	1.625	2.50	115.88	148.47	15786.78	5.25	5.40	4.87	11257.35	3.23	3.89
06/9	0.40	0.261	0.43	0.50	0.77	1.27	1.84	1.67	1.625	2.30	117.01	149.11	15934.09	5.25	5.38	4.71	11533.60	3.34	3.76
06/10	0.40	0.254	0.44	0.52	0.85	1.37	1.92	1.76	1.625	2.35	118.66	149.66	16532.70	5.25	5.36	4.72	11963.12	3.50	3.80
06/11	0.40	0.257	0.47	0.56	0.91	1.36	1.87	1.69	1.625	2.30	117.35	151.13	16101.07	5.25	5.36	4.59	12185.15	3.60	3.73
06/12	0.40	0.255	0.53	0.60	0.92	1.34	1.77	1.63	1.625	2.35	117.30	154.92	16790.21	5.24	5.35	4.56	12377.62	3.60	3.73
07/1	0.40	0.267	0.55	0.61	0.91	1.37	1.84	1.70	1.625	2.40	120.58	156.56	17286.32	5.26	5.35	4.75	12512.89	3.75	4.03
07/2	0.75	0.357	0.57	0.63	0.91	1.36	1.84	1.70	1.625	2.30	120.45	157.60	17741.23	5.26	5.35	4.72	12631.48	3.82	4.05
07/3	0.75	0.509	0.67	0.70	0.93	1.31	1.76	1.61	1.875	2.20	117.28	155.29	17128.37	5.26	5.34	4.56	12268.53	3.89	3.95
07/4	0.75	0.511	0.65	0.70	0.97	1.37	1.82	1.67	1.875	2.25	118.83	160.36	17469.81	5.24	5.34	4.68	12754.80	3.98	4.16
07/5	0.75	0.521	0.65	0.72	1.04	1.41	1.84	1.67	1.875	2.25	120.73	163.19	17595.14	5.25	5.34	4.74	13407.76	4.07	4.29
07/6	0.75	0.507	0.69	0.77	1.19	1.66	2.08	1.88	1.875	2.45	122.62	164.48	17942.18	5.25	5.35	5.10	13480.21	4.15	4.58
07/7	0.75	0.499	0.75	0.83	1.21	1.66	2.10	1.88	1.875	2.55	121.59	166.68	17974.77	5.26	5.35	4.99	13677.89	4.22	4.52
07/8	0.75	0.485	0.80	0.87	1.11	1.43	1.87	1.66	1.875	2.55	116.72	158.98	16460.95	5.04	5.52	4.68	13239.71	4.55	4.30
07/9	0.75	0.510	0.84	0.90	1.08	1.36	1.79	1.60	1.875	2.25	115.02	159.64	16235.39	4.97	5.53	4.51	13557.69	4.74	4.24
07/10	0.75	0.506	0.84	0.91	1.10	1.37	1.83	1.65	1.875	2.45	115.74	164.74	16903.36	4.75	5.15	4.51	13901.28	4.68	4.29
07/11	0.75	0.500	0.85	0.91	1.02	1.27	1.71	1.51	1.875	2.20	111.21	163.28	15543.76	4.50	5.02	4.14	13200.58	4.64	4.10
07/12	0.75	0.497	0.86	0.91	0.97	1.24	1.70	1.53	1.875	2.30	112.34	163.50	15545.07	4.22	5.17	4.09	13406.99	4.85	4.24
08/1	0.75	0.502	0.85	0.89	0.83	1.09	1.60	1.42	1.875	2.10	107.66	158.14	13731.31	3.93	3.93	3.72	12538.12	4.48	4.05
08/2	0.75	0.504	0.85	0.88	0.89	0.96	1.64	1.44	1.875	2.15	107.16	158.18	13547.84	2.97	3.12	3.73	12419.57	4.36	3.96
08/3	0.75	0.511	0.86	0.89	0.92	1.08	1.51	1.30	1.875	2.10	100.79	156.28	12602.93	2.60	2.85	3.48	12193.88	4.60	3.81
08/4	0.75	0.506	0.84	0.88	0.98	1.16	1.59	1.41	1.875	2.10	102.49	161.53	13357.70	2.26	3.02	3.64	12656.63	4.78	4.05
08/5	0.75	0.505	0.84	0.88	1.18	1.47	1.87	1.67	1.875	2.40	104.14	162.05	13995.33	1.99	2.84	3.87	12812.48	4.86	4.20
08/6	0.75	0.509	0.84	0.89	1.30	1.62	1.99	1.75	1.875	2.45	106.90	166.23	14084.60	2.00	2.95	4.08	12056.67	4.94	4.55
08/7	0.75	0.503	0.85	0.90	1.18	1.44	1.82	1.60	1.875	2.40	106.81	168.35	13168.91	2.02	3.00	3.97	11322.38	4.96	4.50
08/8	0.75	0.504	0.85	0.89	1.01	1.26	1.66	1.45	1.875	2.25	109.28	163.75	12989.35	1.99	3.00	3.88	11530.75	4.96	4.22
08/9	0.75	0.495	0.85	0.90	1.05	1.31	1.69	1.48	1.875	2.30	106.75	153.25	12123.53	1.86	3.95	3.68	11114.08	5.02	4.10
08/10	0.50	0.487	0.88	0.91	1.02	1.27	1.55	1.50	1.875	2.35	100.33	133.49	9117.03	1.01	5.31	3.78	9176.71	5.11	3.90
08/11	0.50	0.301	0.82	0.86	0.89	1.13	1.48	1.46	1.675	2.40	96.81	123.25	8531.45	0.39	3.11	3.46	8614.55	4.23	3.57
08/12	0.30	0.211	0.86	0.88	0.85	1.02	1.32	1.31	1.675	2.40	91.28	122.79	8463.62	0.17	2.47	2.40	8595.56	3.29	3.06
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。

内外政治・経済トピックスと今後のスケジュール

	国内	海外
4	1 3月日銀短観 業況判断DI: 大企業製造業▲58、大企業非製造業▲31	米3月ISM製造業景況指数、36.3と3ヵ月連続上昇
	2	ECB、政策金利を0.25%引き下げ、1.25%へ。 トリシェECB総裁「次回会合でさらなる非標準的措置について決定」 G20首脳会合首脳宣言「2010年世界経済2%成長に向け協調」
	3	米3月雇用統計: 就業者数▲663千人。失業率は83/11以来の8.5%に上昇 米3月ISM非製造業景況指数、40.8と2ヵ月連続で低下
	5 北朝鮮、テポドン2号発射	
	6 2月景気動向指数(速報): 先行CIは83/5以来、一致CIは02/4以来の低水準	FRB、日銀・ECB・英中銀・スイス国民銀行とドル以外通貨のスワップ協定を締結
	7 日銀、政策金利据え置き。白川総裁「銀行券ルール撤廃は長期金利に悪影響」	
	8 3月景気ウォッチャー調査、現状・先行DIとも3ヵ月連続改善	米3月FOMC議事録「期間長めの資産の大量買入が適切との見方で一致」
	9 2月機械受注(船・電除民需)、前月比+1.4%と5ヵ月振りの増加 与党、国費15.4兆円程度・事業規模56.8兆円程度の追加経済対策を発表	英中銀、政策金利据え置き 米2月貿易収支、▲259.7億ドルと99/11以来の低水準
	13 3月国内企業物価、前年比▲2.2%と02/5以来6年10ヵ月振りの大幅下落	
	14	米3月小売売上高、前月比▲1.1%と3ヵ月振りの前月比マイナス 米3月生産者物価、前年比▲3.5%と50/1以来の大幅下落
	15	米3月消費者物価、前年比▲0.4%と55/8以来53年半振りのマイナス 米ハーゲンダッツ「12地区中5地区で減速ペースの鈍化確認」 米財務省が替報告「中国通貨は著しく過小評価」「為替操作国に指定せず」
	16	中国、09年第1四半期実質GDP前年比+6.1%。週及可能な92年以降で最低
	17 3月消費者態度指数、3ヵ月連続上昇。+2.2%ポイントは07/1以来の上昇 政府月例経済報告、基調判断を2ヵ月連続据え置き	ムーディーズ、アイルランド国債を格下げ方向で見直し
	21	IMF世界金融安定性報告、不良資産評価損4.1兆ドルに達する可能性
	24	英1-3月期実質GDP(速報値)、前期比▲1.9%と79/7-9以来最大の下落 米FRB「大半の銀行、現在十分な資本水準をさらに上回っている」 ワシントンG7共同声明「世界経済の悪化ペースが鈍化、一部に安定化の兆し」「経済活動、今年後半に回復するが見通しは弱く下方リスクが継続」
	27 政府経済見通し、09年度実質▲3.3%と過去最悪水準に大幅下方修正	WHO、豚インフルエンザの警戒レベルを「フェーズ4」へ引き上げ
	29	米1~3月期実質GDP(速報値)、前期比年率▲6.1% 米FOMC、政策金利据え置き。声明「収縮のペースは幾分減速」
	30 3月鉱工業生産、前月比+1.6%。予測指数: 4月+4.3%、5月+6.1%。 日銀、政策金利据え置き。日銀展望レポート「09年度後半以降、成長率は緩やかに持ち直す姿を想定」	米1~3月期雇用コスト指数、3月個人所得・消費 米4月シカゴ購買部協会景気指数
	5	米4月ミシガン大学消費者信頼感(確報)、同ISM製造業景況指数 米3月製造業受注
	5	米4月ISM非製造業景況指数
	7 日銀政策決定会合議事要旨(4/6~7分)	ECB理事会、英中銀金融政策委員会(6日~) 米1~3月期非農業部門労働生産性・単位労働コスト
	8	米4月雇用統計
	12 3月景気動向指数(速報)	米3月貿易収支
	13 3月国際収支、4月マネーストック、同景気ウォッチャー調査	米4月小売売上高
	14	米4月生産者物価
	15 3月機械受注、4月国内企業物価	ユーロ圏・独・仏・伊1~3月期実質GDP(速報値) 米4月消費者物価、5月NY連銀製造業景況指数、3月証券投資統計 米4月鉱工業生産・設備稼働率、5月ミシガン大学消費者信頼感(速報値)
5	18 4月消費者態度指数	
	19	米4月住宅着工件数
	20 1~3月期実質GDP(一時速報値)	米FOMC議事録(4/28~29開催分)
	21 3月第三次産業活動指数	米4月CB景気先行指数、5月フィラデルフィア連銀景況指数
	22 日銀決定会合(21日~)、日銀総裁定例記者会見	
	25	米メモリアルデー
	26 4月企業向けサービス価格指数	米3月S&P/ケース・シラー住宅価格指数、5月CB消費者信頼感指数
	27 日銀政策決定会合議事要旨(4/28分)、4月通関貿易収支	米4月中古住宅販売
	28	米4月耐久財受注、同新築住宅販売
	29 5月東京都都部消費者物価・4月全国消費者物価 4月鉱工業生産、同労働力調査・有効求人倍率、同家計調査、住宅着工	米1~3月期実質GDP(改定値) 米5月シカゴ購買部協会景気指数、同ミシガン大学消費者信頼感(確報)